



2020年12月期 第2四半期 決算説明会

(2020年8月27日)

千代田インテグレ株式会社

(東証1部：6915)

2020年12月期 第2四半期連結業績

	2019年	2020年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	18,705	16,022	△2,683	△14.3%
売上総利益	3,932	3,157	△775	△19.7%
	21.0%	19.7%		
営業利益	857	388	△469	△54.7%
	4.6%	2.4%		
経常利益	956	478	△478	△50.0%
	5.1%	3.0%		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	824	153	△671	△81.4%
	4.4%	1.0%		
為替レート /US\$	110.06円	108.23円		

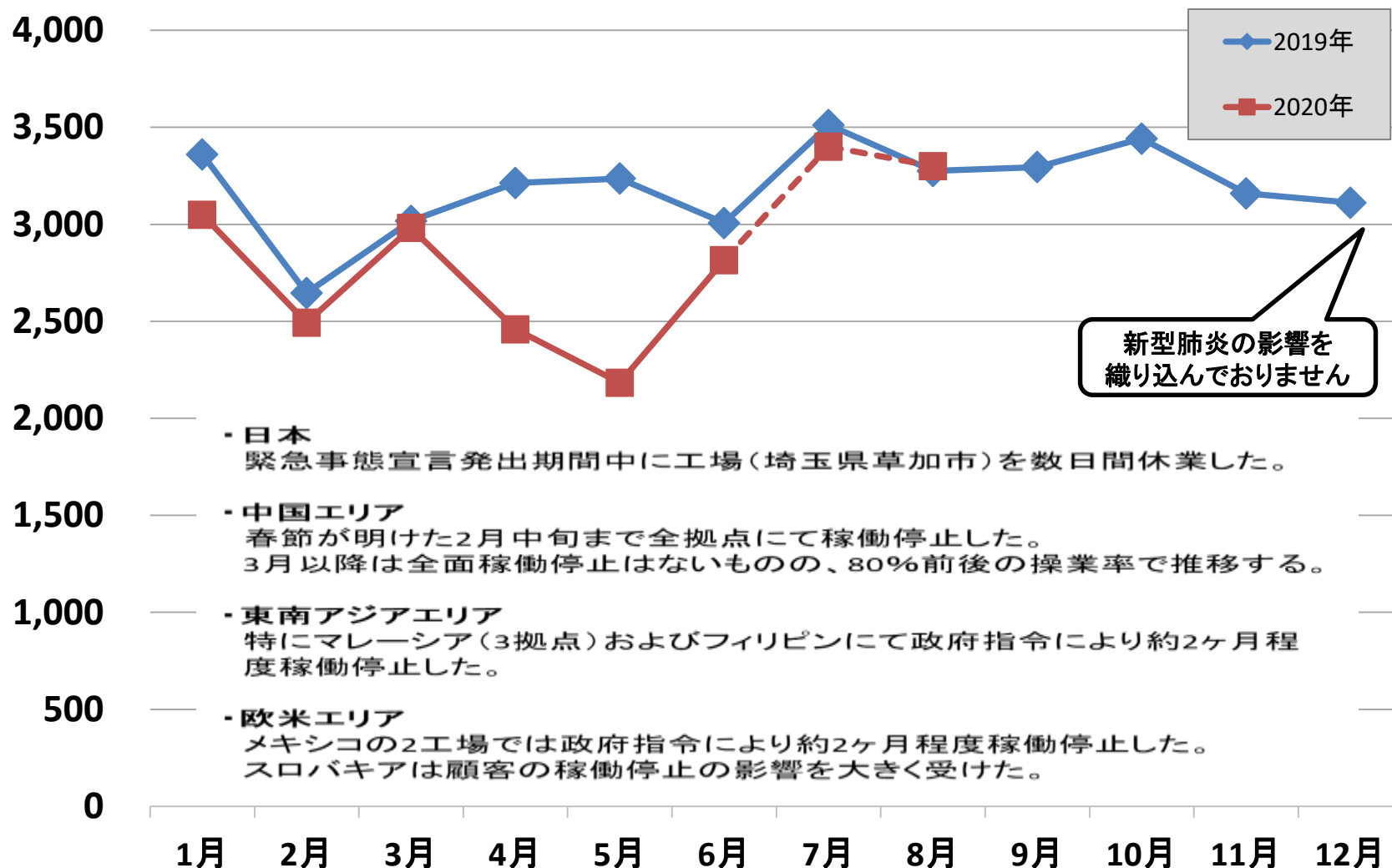
新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が各国に悪影響を及ぼし
事態が深刻化し、極めて厳しい経営環境となりました。

当第2四半期連結業績のポイント

<p>売上高</p>	<p>前期比26.8億減収 ✓ 為替の影響額△3.8億円 ✓ 業種別純増額△22.8億円 (OA機器△15.5億円、AV機器 +6.0億円、 自動車 △4.9億円、通信機器△7.5億円、電子デバイス+0.6億円 など)</p>
<p>営業利益</p>	<p>前期比4.6億円減益 ✓ 売上総利益率の低下 (21.0%→19.7%) ✓ 販管費の減少 3.0億円</p>
<p>親会社株主に 帰属する 当期純利益</p>	<p>前期比6.7億円減益 ✓ 特別利益 0.2億円 (新型コロナウイルス感染症に係る助成金収入) ✓ 特別損失 1.9億円 (新型コロナウイルス感染症に伴う政府要請による操業停止期間の固定費) ✓ 法人税等の減少 0.4億円</p>

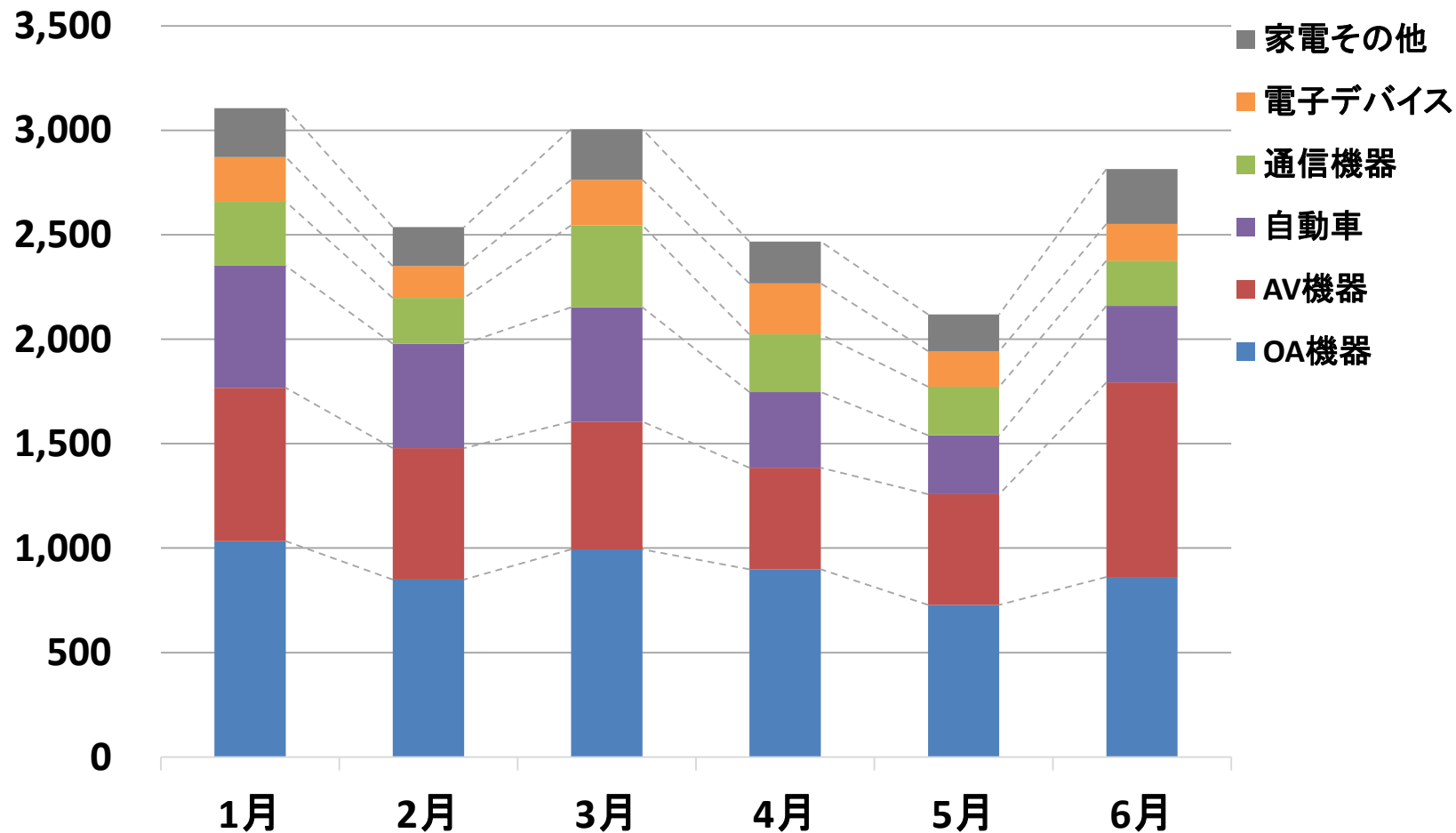
連結の月次売上高の傾向

(単位:百万円)



主要業種別の月次売上高推移(連結)

(単位:百万円)



2020年12月期 単体業績

	2019年	2020年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	5,916	5,009	△ 907	△15.3%
売上総利益	1,258	1,002	△ 256	△20.3%
	21.3%	20.0%		
営業利益	△145	△272	△ 127	-
	-	-		
経常利益	294	59	△ 235	△79.9%
	5.0%	1.2%		

セグメント別業績(日本)

単位： 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	4,718	4,040	△ 678	△14.4%
セグメント間の 内部売上高	1,640	1,281	△ 359	△21.9%
合計	6,358	5,321	△1,037	△16.3%
営業利益	△127	△ 285	△158	—
営業利益率	—	—		

※日本地域には国内子会社 1 社が含まれています

感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出とその余波の影響により、
主要分野が低調に推移しました。

セグメント別業績(東南アジア)

単位： 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	7,139	5,286	△1,853	△26.0%
セグメント間の 内部売上高	50	69	19	38.0%
合計	7,190	5,355	△1,853	△25.5%
営業利益	420	191	△ 229	△54.5%
営業利益率	5.9%	3.6%		

感染拡大に伴うロックダウンの影響などにより、
主要分野が落ち込みました。

セグメント別業績(中国)

単位: 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	5,242	4,799	△ 443	△ 8.5%
セグメント間の 内部売上高	389	356	△ 33	△ 8.5%
合計	5,632	5,156	△ 476	△ 8.5%
営業利益	218	215	△ 3	△ 1.4%
営業利益率	4.2%	4.5%		

感染拡大の直接影響から早期に持ち直すと共に、
AV機器向けが堅調でした。

セグメント別業績(その他)

単位: 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	1,605	1,895	290	18.1%
セグメント間の 内部売上高	29	15	△14	△48.3%
合計	1,635	1,910	275	16.8%
営業利益	△1	△16	△15	—
営業利益率	—	—		

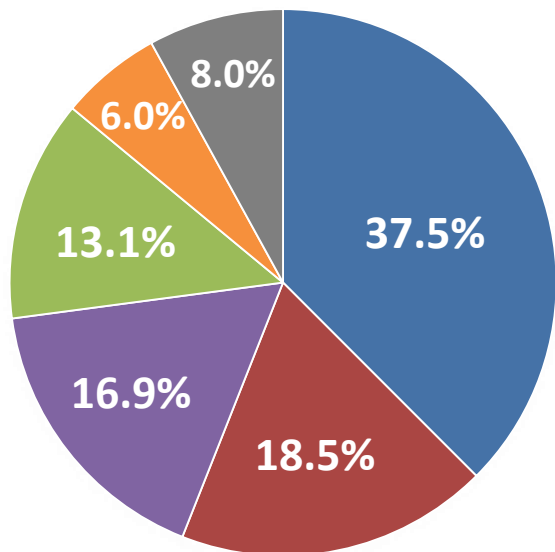
米国でのAV機器向けが好調でしたが、
メキシコ・スロバキアでの自動車向けが軟調に推移。

売上高に占める主要業種の構成比(連結)

2019年

構成比率

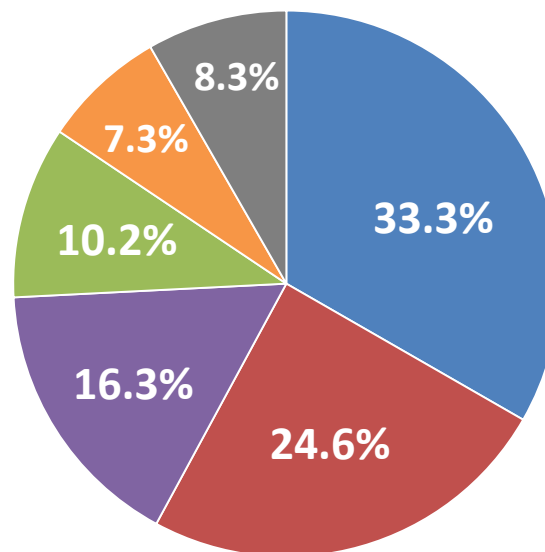
- OA機器
- AV機器
- 自動車
- 通信機器
- 電子デバイス
- 家電その他



2020年

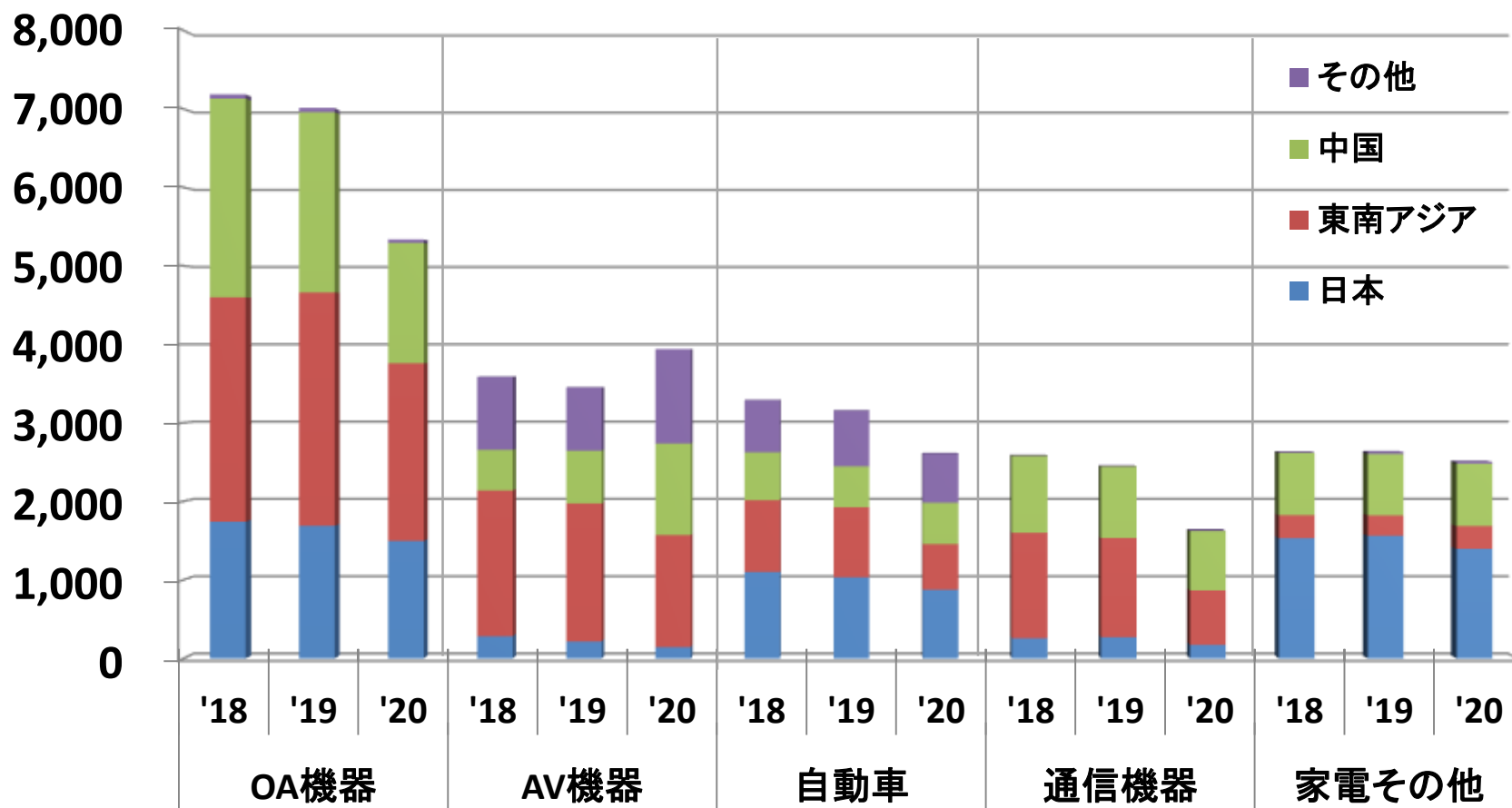
構成比率

- OA機器
- AV機器
- 自動車
- 通信機器
- 電子デバイス
- 家電その他



業種別売上高の比較(連結)

(単位:百万円)



設備投資と減価償却費

単位：百万円		2019年 通期実績	2020年 第2四半期	2020年 (通期予測)
設備投資	日本	1,455	132	300
	海外	977	434	700
	合計	2,433	567	1,000
減価償却費		1,164	583	1,150

2020年第2四半期の主な設備投資

- ・機 械 設 備 :323百万円
- ・土 地 建 物 :197百万円

2020年の設備投資(今後の予定)

- ・機 械 設 備 :300百万円
- ・土 地 建 物 :50百万円

2020年12月期 連結業績見通し

	2019年 第2四半期	2020年 第2四半期	2019年 通期	2020年 通期	市場動向等
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)	実績 (構成比)	予想 (修正後) (構成比)	
売上高	18,705	16,022	38,358	33,000	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器 一部コンシューマ向けは好調だが、 全般的に需要減少が続く
営業利益	857 4.6%	388 2.4%	1,921 5.0%	800 2.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車 生産は徐々に回復傾向 電気自動車の潜在需要も継続中とみる
経常利益	956 5.1%	478 3.0%	2,172 5.7%	900 2.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・AV機器 ステイホームの需要を受け、 3Qに入った現在も受注増が継続
親会社株主に 帰属する 純利益	824 4.4%	153 1.0%	2,058 5.4%	400 1.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム機 AVと同様にステイホーム需要を受け、 好調
為替レート /US\$	110.06円	108.23円	109.03円	107円	

事業領域拡大の取り組み

(日本：生産構築)

- ・ 関東事業所（埼玉） 新規事業立ち上げのためクリーンルームの拡張
⇒ 自動車関連やデバイス関連
- ・ 豊橋（愛知） 工場の再稼働開始
⇒ 自動車向け受注増に向けた生産体制整備
関東事業所のバッファ的機能も一部付与

(中国：事業再編)

- ・ 山東 生産キャパ増強のため移転完了し稼働開始
⇒ 外資系企業の受注増やゲーム機・スマホ関連



- ・ 広州 生産活動を中止し、営業所としての活動に特化
⇒ 自動車関連

(開発商品)

- ・ 放熱関連部材の積極的展開

利益配分に関する基本方針

2019年12月期から2021年12月期までの3期について

①配当性向は50%以上を目処

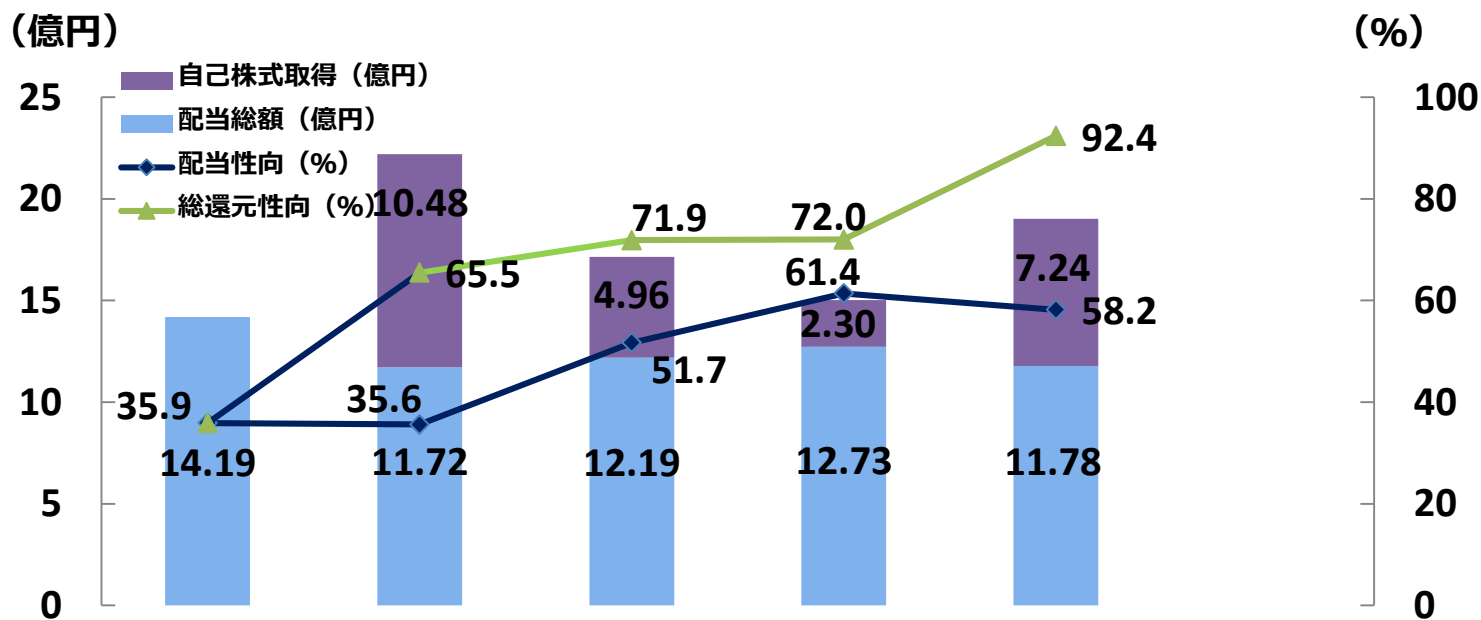
②ROE10%以上を目標として、株価水準や市場環境等を勘案しながら、
総還元性向80%を目処とした自己株式の取得を機動的に実施

○2020年12月期

・1株当たり配当金 未定

※業績等を勘案して検討いたしますが、現在は未定とさせていただきます。

株主還元の様態



	'15.08月期	'16.12月期	'17.12月期	'18.12月期	'19.12月期	'20.12月期 (予想)
期末配当 (円)	105	90	95	100	95	未定
配当総額 (億円)	14.19	11.72	12.19	12.73	11.78	-
配当性向 (%)	35.9	35.6	51.7	61.4	58.2	-
自己株式取得 (億円)	0	10.48	4.96	2.30	7.24	-
総還元性向 (%)	35.9	65.5	71.9	72.0	92.4	-

※'15.08月期末配当：記念配当 10円を含む

近況報告

- ・ 自社でフェイスシールドを製作し販売。
一部を寄付いたしました。



- ・ 第2弾としてアイガード販売予定、
マウスガードも企画中です。



本資料の取扱上のご注意

本資料で記述されている将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

その見通しは世界経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性もありますことをご承知おきください。